

インフルエンザ

NO. 18

と

風邪

の違い



インフルエンザと風邪（普通）の違い

普通の風邪とインフルエンザは似た症状ではありますが**違います**。。。。。。。

◆普通の風邪もインフルエンザも**ウイルス**で起こりますが、**病原ウイルスの違い**や**症状の違い**があります。たとえば普通の風邪は鼻水、鼻づまりの症状が強く現れますが、**インフルエンザは突然高い熱**（38～39℃）が出て始まるのが特徴です。頭痛、腰痛、筋肉痛、関節痛、全身の倦怠感などを伴います。少し遅れてのどの痛みや鼻水、咳などの症状が出ます。（インフルエンザの流行期にみられる「**お腹にくる風邪**」はウイルス性の急性胃腸炎のことがあります。）

◆インフルエンザは**全身性の疾患**で**重症度も高く**、肺炎や脳症などを合併し**命に関わることもある**という点で、普通の風邪とは大きく異なっています。

高熱が出てインフルエンザかな？。。。。

症状が出たら48時間以内に受診してください。

インフルエンザの迅速な診断法があります。（20分くらいで結果がでます。）

48時間以内（2日）に抗ウイルス薬の治療を受けることにより有病期間が短縮できます。

	インフルエン	普通の風邪
初期症状	突然の高熱、悪寒、頭痛、腰痛	鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの腫れ、咳
熱	38℃以上の高熱（3～4日）	無いか、あっても37℃台
全身症状	全身倦怠感、筋肉痛、関節痛	ほとんど無い
合併症	気管支炎、ウイルス性肺炎、細菌性肺炎、脳炎、脳症	まれ 中耳炎 （とくに小児）
病原ウイルス	インフルエンザウイルス（A香港型、Aソ連型、B型）	ライノウイルス、アデノウイルス、コロナウイルス、RSウイルスなど

予防

ウイルスは患者さんの**咳やくしゃみ**で飛び散り、周囲の人がそれを吸い込んで感染します。温度が低くて**空気が乾燥**しているほうがウイルスにとって好都合、感染して広がりやすいのです。

- ★ 雑踏の多い場所への外出は出来るだけ控えましょう。
- ★ 外出時の**マスク**、帰宅時の**うがい**や**手洗い**を心がけましょう。（のどの粘膜を保護して清潔に保ち局所の抵抗力を落さない効果がある）
- ★ **体を冷やさない**（手足や腰などが冷えるとその部位の血管だけでなく、のどの粘膜の血管も反射的に収縮して血液の流れが悪くなりウイルスの感染が起こりやすくなる）普段から**乾布摩擦**を！
- ★ **睡眠不足**や**過労**も抵抗力を低下させますのでご注意ください。



トピックス

「のどちんこの役目は？」

のどちんこは医学的には「**口蓋垂**」といいます。のどちんこを震わせて、大きな声にするためとか？食べ物のがどにつかえないためにあるとか？。。。。**なんの役目もありません**。口の中の上あご部分を口蓋といい、人間の口蓋は、胎児のときは左右に分かれていて、出産までにくっつき一体となります。その時、はみ出すようにしてできるのが、のどちんこです。

扁桃腺は**のどちんこの両側の赤いふくらみ**です。ここに風邪の病原菌がつくと、赤く腫れて**扁桃腺炎**になります。

（からだ雑学事典より）

